

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	栄養専門職のキャリア形成を促す臨床栄養師実践演習プログラムの再構築				
研究組織	代 表 者	所 属 ・ 職 名	食品栄養科学部・教授	氏 名	新井 英一
	研究分担者	所 属 ・ 職 名	食品栄養科学部・教授	氏 名	市川 陽子
		所 属 ・ 職 名	食品栄養科学部・助教	氏 名	川上 由香
		所 属 ・ 職 名	聖隷浜松病院 栄養課・課長 (臨床准教授)	氏 名	鈴木 里香
		所 属 ・ 職 名	藤枝市立総合病院 臨床栄養科 ・係長 (臨床教授)	氏 名	篠原 由美子
	発 表 者	所 属 ・ 職 名	食品栄養科学部・教授	氏 名	新井 英一

講演題目
栄養専門職のキャリア形成を促す臨床栄養師実践演習プログラムの再構築
研究の目的、成果及び今後の展望
これまで本学の管理栄養士養成における教育として、実践プログラムを大学院にて実施し、多くの優れた実践指導者（臨床栄養師）を輩出してきた。一方、管理栄養士の学部教育カリキュラムでは、限られた履修時間であるため、学部生における専門職としての自己効力感を高め、「実践スキル」を得られる実習体制は十分に整備されていない。そこで、本研究の目的として、これまで構築してきた大学院生用のプログラムを改編し、実践知を習得できる教育プログラムを学部学生が対象としても対応可能かについて、調査を行った。 聖隷浜松病院および藤枝市立総合病院において実施されている「特別インターンシップ」の大学院学生の受け入れ施設の拡充に対して、県内の他施設の栄養科に働きかけを実施し、意見聴取をおこなった。また、栄養専門職大学院キャリア支援演習プログラムの課題を検討するとともに、本プログラム内に学部学生の実習を組み込んだ実習（大学院生の活躍する姿を見て、学部生の意識改革や大学院進学を通じて、本プログラムを目指す）が整備できるかを協議した。協議事項として、実施しているプログラム内容をもとに、管理栄養士の資質醸成、管理栄養士としての質の担保、全体の期間、外来および入院時における実務体制の評価、臨床と給食の連携等に絞り、評価項目を整理した。 「実践知」をあげるために、知識と技能とをつなぐ力および想像力は習得可能であるとの意見が挙がる一方、専門職という資格を有さないことによる不安や自信のなさが積極性の乏しさに繋がることや、責任感、課題に対しての真摯に向き合う姿勢（難題に対して決断する力）などをどのように育成するか、その対応できるプログラムが課題であることが露呈された。また、現在特別インターンシップでは3か月間の中で、1か月間施設で提供している食事のすべてを把握した上で、入院の栄養管理など現場での業務として実施しているため、実習期間をさらに短くした学部での教育プログラムに改変して行うには、難しい課題もあることが指摘された。 管理栄養士のライセンスを取得した後の就職先は、医療および福祉だけでなく、学校、行政、スポーツと多岐にわたることから、分野選びを視野に入れつつ、専門性を磨くためのプログラムの構築が必要であると考えられた。